

意見交換（２）：ITER及びBA計画に対する意見と要望（香山 晃）

香山：運営会議で大筋ご了解戴いた意見と要望の話に移りたい。最終的には、佐藤先生の名前で出すことになるだろう。各クラスターからそれぞれ独立した要望が出て、統合したものとして運営会議に提出し承認された。より具体的な内容を盛り込んだ最終版を作成し、提出する予定である。運営会議で文部科学大臣に出すべきとの意見もあり、ぜひ格調高い要望書にしたい。ITER及びBA計画の重要性や国際協力と国際競争の両面などについても記述し、フォーラムを活用して全日本的な体制構築を要望するという内容になっている。また、第三段階核融合基本計画に基づき、新たな予算措置を伴うものも含む。調整・評価を行う会議体に関する検討、設立の要望となっている。国際的な研究提案などクラスター活動を通じての貢献についても言及し、フォーラムとしての強い意思を表明した。以上について、重要な視点で欠けているものがあればご指摘戴きたい。

苫米地：もし付け加えるとすれば、提案をする思想、将来に対するビジョンが最初にあってしかるべき。色々なことを考えたと思うが、フォーラムは色々な国際協力をするということもあるが、核融合エネルギー開発はわが国の将来のエネルギー政策を考えた上で大事であるのではないか。そういうことで活動しているので、フォーラムの思想を最初に一行書いた方が締まるし、格調高くなる。

森（茂）：現状では書きすぎていて何を言いたいのかわからない。苫米地さんがおっしゃったことは重要なポイント。もう少し論点をしぼらないと、インパクトがないのではないかな。

香山：近藤先生には、出すのなら、何がほしい、ということをはっきり言わないと意味がない、といわれた。しかし、まずは挨拶、ご意見伺いということで出すことで、議論を午前中に行った。その後具体的にご意見を反映して、なるべくしっかりしたものを出したい。最終的には運営会議に出して、皆さんにも承認戴くということにしたい。賛同戴ける方は拍手をお願いしたい（一同拍手）。では、そのように進めさせて戴くことにしたい。